

【港南区】令和5年第2回区づくり推進横浜市議員会議
議事録

開催日時	令和5年6月8日(木) 午後3時～午後4時30分
場 所	港南区役所6階 会議室
出席者	<p>【座長】 みわ智恵美議員</p> <p>【議員：4名】 山田桂一郎、瀬之間康浩議員、田野井一雄議員、安西英俊議員</p> <p>【港南区：34名】 栗原敏也区長、高橋功副区長、小林仁担当理事（福祉保健センター長）、遠藤寛子福祉保健センター担当部長、松寄尚紀港南土木事務所長、櫻井清二港南消防署長ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和5年度個性ある区づくり推進費の執行計画について</p> <p>2 令和5年度港南区に係る予算の全体像について</p> <p align="right">(中山総務課長説明)</p>
発 言 の 要 旨	<p>安西議員：港南中央駅のバス乗り場の増設について、バス停設置工事の前提となっていた東京電力の埋設管敷設替え工事の進捗状況はどうか。</p> <p>曾我区政推進課長：埋設管敷設替えの工事は既に開始しており、埋め戻しも含めて、6月を目途に終了する。</p> <p>安西議員：今後の上屋の工事スケジュールはどうか。</p> <p>曾我区政推進課長：東京電力の工事が終わり次第、上屋の工事を行い、12月までに完成としている。</p> <p>安西議員：現在も朝、通勤・通学で多くの人が並んでいる状況だが、新たに増設されるバス停ではどのように並ぶ想定なのか。</p> <p>曾我区政推進課長：交通局や各バス会社からは、現時点ではご利用されるお客様の動きや列の長さを想定できていないため、実際に運行を始めてから検討する予定と聞いている。</p> <p>安西議員：公開空地のところに、バス停の増設に合わせてベンチが寄附されるということで、並び方によっては、歩行者や自転車、バスを待っている方で混雑するため、その見極めはとても重要になる。交通局には、しっかりとした想定を出してもらった方がいいと思うがどうか。</p>

栗原区長：以前は消防車両の出入り口となっていた関係で、区民の皆さまは長い間1つのバス停を使ってきたが、今回の事業で約8割の利用者の方が前、つまり公会堂の空地の方で待つことになる。歩行者や自転車の方がぶつからないような表示をした上で、人の動きも踏まえたベンチの設置場所などは、専門家である交通局に主体となって考えていただきながら区としても一緒に考えていければと思う。

安西議員：公開空地に設置するベンチについては、タイル敷きのため、アンカーボルトで止めることができず、基礎の部分をしっかり埋めることになると思う。一度設置してしまうと元に戻すことができないため、新しい上屋が出来てバス利用者の並び方について検討してからのベンチ設置でもよいのではないか。

曾我区政推進課長：新しいバス停の設置には、様々な課題があるが、引き続き交通局と協議しながら進めていければと思う。

安西議員：失敗したら直せないものになる、ということを第一に考え、ベストな選択をしてもらいたい。

続いて、デジタル区役所の方向性が示されているが、より実感しやすい取組について集中的に取り組んで欲しい。実感しやすい事業から優先的に始めるなどの区の方角性はあるのか。

曾我区政推進課長：区民の皆さまがより実感しやすい取組というと、「書かなくてよい窓口」、「待たなくてよい窓口」が挙げられる。窓口に来て書類を書く煩わしさを解消することや、自分が何番で今何番まで呼ばれていて、あとどれくらい待てば良いのか等を「見える化」することで、より区民の皆さまにデジタル化の恩恵を感じていただけたらと思う。

安西議員：方向性はとても良い。より区民の皆さまに分かりやすいように発信して欲しい。

続いて、「窓口サービス向上事業」の窓口連絡会について、広聴などの情報を区民サービスの質の向上に反映する取組はとても良いことだと思う。どのような課題があり、どのように改善していくのかを区づくり推進市議員会議の場でも報告し、「見える化」して欲しい。

高橋副区長：まだ始まったばかりだが、戸籍課・保険年金課を中心に、広

聴でいただいた苦情をどのように改善していくかなどを議論する場を作り始めている。ご指摘の通り、区づくり推進市会議員会議の場でも報告しながら進めていきたいと思う。

山田議員：昨今、港南台駅は、タバコのポイ捨てと電車に乗る前の喫煙が非常に多い。港南台駅は小さなお子さんの駅利用も多く、何とかならないかとの切実な声が若いお父さん方から寄せられている。4年前にはタバコポイ捨て取締隊、見回り隊が頻繁に回って頂いたおかげでだいぶ減少したが、また、元に戻ってきてしまっている。今一度、港南台駅周辺を見回りの重点地区にして欲しいがどうか。

河本資源化推進担当課長：ご指摘の通り、年1、2回タバコのポイ捨てについて苦情が入っている。そのため、清掃やポイ捨てのパトロールを行い、できる限り対応している。また、環境事業推進委員を委嘱しており、一緒に年3回ほど港南台駅前で啓発活動を行う一環で清掃活動も行っている。現在の水準以上のパトロールについては、所管部署と調整していきたい。

山田議員：反対に上永谷駅については、愛煙家からタバコの喫煙場所を設置して欲しいとの要望があり、大船駅には3か所も設置されているのに何故ないのかという声がある。最近では、「公共トイレ協力店」の実証実験が横浜市とローソンとの間で進められている。この取組を参考にし、維持費やコストがかかる喫煙所の設置ではなく、喫煙所利用の協力店として、上永谷駅周辺にあるパチンコ店3店ほどに補助金や助成金等を出すなど交渉してみてもどうか伺う。

河本資源化推進担当課長：喫煙禁止地区になっているところについては、喫煙所を設置している。しかし、上永谷駅は喫煙禁止地区になっていないため、喫煙所の設置は難しいが、いただいたご意見を踏まえ、担当部署へ共有したいと思う。

山田議員：上永谷駅のバスロータリーの藤棚だが、最近は一向に紫色の藤の花が咲いているのを見たことがない。街や生活に潤いを与える藤の花を咲かせて欲しいとの要望があった。花と緑のある美しい街づくりを推進していくとあるが、是非咲かせて区民要望を実現して頂きたいがどうか伺う。

坂口港南土木事務所副所長：藤の木が弱っていたことや、枝に不朽が見られたため、令和2年に強剪定を行った。現在、木は一時的に樹勢が弱まっているので、樹勢が回復するのを見守っているところ。引き続き維持管理を行っていききたい。

瀬之間議員：「認知症VR体験会」の具体的な内容や開催場所、募集方法について教えて欲しい。

松月高齡・障害支援課長：「認知症VR体験会」は、まず参加者がVRゴーグルを装着し複数の認知症の症状を本人視点で体験することで、その状況で何を感じ、何を思うのかを実感してもらう。その上で、参加者同士で認知症がある方を取り巻く環境をどのように変えられるかなどを考えてもらうような内容としている。

開催場所は6階の会議室とし、募集については、9月の広報よこはまやホームページで周知していく。

瀬之間議員：何歳ぐらいの方を対象としているのか。

松月高齡・障害支援課長：年齢の制限は設けないが、対象については、これまで認知症サポーター養成講座を受講された方や認知症の方のサポートにご興味のある方を対象に募集したい。

瀬之間議員：「地域の課題解決に向けたアドバイザー派遣」として、応募が1件になっているが、妥当なのか。

岩元地域力推進担当課長：当初2件を想定していたが、1件しか応募がなかったため、再度6月の区連会で募集していききたい。

みわ議員：児童虐待が大きな問題になっているが、実際に区役所で対応する中での気づきを教えて欲しい。

奥津こども家庭支援課長：港南区においても児童虐待件数が年々増えているため、虐待予防の取組をより一層進めていかなければいけないと感じている。また、近年の課題として、望まない妊娠等により虐待に至るリスクを有する「特定妊婦」が増えていることが挙げられる。望まない妊娠を避けるためには、性に対する正しい知識を持ち、自分と他者を大切にす気持ち、また自分自身を守る力を育てることが非常に重要であると考えている。こうした力を育てていくためにも、学校と連携しながらこどもたちへの包括的な性教育に積極的に取り組むことが重要であると考えている。

みわ議員：重大事案が5件も報告されている。学校と連携しながら性教育

に取り組むとのことだが、具体的にどういう取組か。

奥津こども家庭支援課長：こども家庭支援課では既に学校に助産師を派遣し、学校の授業の中で命の授業や思春期教室等を行っている。そういった取組を令和4年度は4件実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で件数はあまり伸びていないが、今後も学校と連携しながら実施できるよう働きかけていきたい。

みわ議員：男女同時に実施しているのか。

奥津こども家庭支援課長：男女同時に実施している。

みわ議員：重要な取組であり、港南区には10校の中学校があるので、できるだけ多く開催して欲しい。

続いて、働き・子育て世代の方へのがん検診の啓発について、様々な取組が行われているが、肺がん検診は、土曜日にもできるのか、また、このような新たな取組が受診率向上に繋がっているのかを聞きたい。

佐藤福祉保健課長：区役所での肺がん検診については、年間5～6回行っており、実施する日は全て平日である。一時保育の活用を含めた案内については、乳がん検診のクーポンにあわせて対象となる方に送付している。また、昨年度は就学児健診の案内にも同封し送付している。

できるだけご利用いただけるように、従来は1回につき1枠だったが、ご希望があれば重ねて枠を取れるように考えている。受診率向上に関する評価は難しいが、このような取組を行うことで、ここ数年、一時保育では数名の申し込みがあり、乳がん検診については、40名から60名ほどの方に受診いただいている。

みわ議員：さらなる取組を進めていくとともに、土日や夜の時間帯にも受診できるようにして欲しい。

続いて、交通局から、市営地下鉄上大岡駅ホームから地上に上がるエレベーターが7月1日から使用開始と聞いた。港南中央駅から地上に出たところには屋根がなかったが、公会堂設置と同時に屋根をつけてもらった経緯がある。

市営地下鉄上大岡駅を上ったところにも屋根を設置し、電動車いす利用の方などが濡れないで京急への乗り換えができるようにすべきと思うが、区役所でもこの点について把握しているの

か。

曾我区政推進課長：上大岡駅の京急連絡改札口側の新設エレベーターについては、ご指摘いただいた内容を交通局にしっかり伝えていきたいと思う。

みわ議員：大勢の方が喜んで使うエレベーターになると思うので、是非区役所にも取り組んでもらいたい。

田野井議員：港南区と西区がデジタル区役所のモデル区に選定された際に、デジタル統括本部から必要な予算を出してくれるのかと質問をした。現在の体制についての経緯とふらずデジタルの取組を進める対応について伺いたい。

栗原区長：令和4年度からデジタル区役所のモデル区になったが、当初は、人と物がついてこない中で、モデル区に選定され、どうすれば区民の皆さまにデジタル区役所の利便性を享受していけるのかをアイデアレベルからボトムアップ型で考えてきた。昨年度から、デジタル統括本部と区役所を兼務する係長が1名配置され、かつデジタル機器の整備が進み、各課とうまく連携したことで、52のデジタル事業に取り組むことができた。

田野井議員：上大岡の再開発について、今後の動向を教えて欲しい。

栗原区長：先日、都市整備局から事業説明を受け、整備計画や局の考え方を共有してもらった。私たち区役所は区民の皆さまに軸足を置いて局の事業を推進する立場になるので、上大岡に住む区民の皆さま、商店街の皆さま、に少しずつ理解してもらえるように説明していきたい。

田野井議員：市の広報で「子宮頸がんワクチンの接種が増えました」とあったが、かつて国が接種を呼びかけた子宮頸がんワクチンが被接種者に全身の痛みなどの健康被害を引き起こしたことが問題となり、積極的な接種勧奨を休止した経緯がある。港南区の実情について伺いたい。

佐藤福祉保健課長：がん検診の受診率を拾うのは難しいが、令和3年度は、子宮がん25.3%、乳がん10.9%、大腸がん13.2%、肺がん11.1%、胃がん3.7%となっている。こちらについては、会社などでの健康診断の受診機会が無い方を対象者、母数とし、それに対する医療機関等からの検診費用請求件数を計算した件数から算出した

	<p>もので、全体像を示す具体的な数値ではない。また、参考数値として令和4年度区民意識調査の中でがんの検診をどのくらい受けたかの問いに対し、45%となっている。</p> <p>田野井議員：これは小学校からの問題であり、どう理解していくかが大切なので、南部学校教育事務所との連携なども含め、お願いしたい。</p>
備 考	